

**パソナグループ 2012年5月期 決算概要**

- インソーシング(委託・請負)は緊急雇用案件や行政事務代行に加えて、民間企業からの受託も増加し、大幅な増収。ブレース&サーチ(人材紹介)も人材需要が活発化して大幅に伸長。グローバルソーシング(海外人材サービス)も現地人材の需要増に加えて、派遣や給与計算などのアウトソーシングも伸長し、増収
- エキスパートサービス(人材派遣)は派遣需要の抑制と、インソーシングへの移行を戦略的に推進したことから減収。これらの結果、連結売上高は+1.5%の増収
- インソーシングの粗利率低下影響もあって売上総利益は微増に留まり、リスクマネジメント強化や、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業拡大に向けた先行投資、地域活性化事業への注力などから販管費が増加し、連結営業利益は△19.2%の減益
- 法人税率引き下げにより法人税等調整額が膨らんだことや、少数株主利益が増加したことなどから、連結当期純利益は△92.9%と大幅減益
- 2013年5月期は当期行ったM&Aの事業基盤をもとにグループシナジーを創出し、増収増益を計画

**1. 通期連結業績 (2011年6月1日～2012年5月31日)**

(百万円)

	2011年5月期	2012年5月期	増減	増減率
<b>売上高</b>	178,806	<b>181,498</b>	+2,692	+1.5%
売上総利益 (売上比)	33,558 18.8%	<b>33,805</b> <b>18.6%</b>	+246 △0.2pt	+0.7%
販売費及び一般管理費 (売上比)	31,125 17.4%	<b>31,840</b> <b>17.5%</b>	+714 +0.1pt	+2.3%
<b>営業利益</b> (売上比)	2,432 1.4%	<b>1,964</b> <b>1.1%</b>	△468 △0.3pt	△19.2%
<b>経常利益</b> (売上比)	2,571 1.4%	<b>2,091</b> <b>1.2%</b>	△480 △0.2pt	△18.7%
税金等調整前当期純利益 (売上比)	2,496 1.4%	<b>2,218</b> <b>1.2%</b>	△277 △0.2pt	△11.1%
<b>当期純利益</b> (売上比)	412 0.2%	<b>29</b> <b>0.0%</b>	△383 △0.2pt	△92.9%
<b>1株当たり当期純利益</b>	1,101円88銭	<b>78円78銭</b>	△1,023円10銭	△92.9%

**2. セグメント別業績 (セグメント間取引消去前)**

(百万円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比
HRソリューション	180,581	+1.7%	5,525	+5.9%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	156,028	+1.9%	2,211	+11.7%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	151,008	+1.2%	2,211	+11.7%
ブレース&サーチ(人材紹介)	2,692	+46.8%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	2,327	+14.6%		
アウトブレースメント(再就職支援)	9,594	△2.2%	834	△17.4%
アウトソーシング	14,959	+1.8%	2,479	+11.3%
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	3,732	+4.7%	42	△68.2%
消去又は全社	△2,816	—	△3,603	—
<b>合計</b>	<b>181,498</b>	<b>+1.5%</b>	<b>1,964</b>	<b>△19.2%</b>

## ●セグメント別業績

※以下( )内は前期比

### HRソリューション

#### エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 156,028 百万円(+1.9%) 営業利益 2,211 百万円(+11.7%)

#### [エキスパートサービス、インソーシング、HRコンサルティング]

売上高 151,008 百万円(+1.2%)

##### エキスパートサービス(人材派遣) ※月平均長期稼働者数、職種別売上高…p.4

- 厚生労働省の派遣職種適正化推進の影響による企業の派遣需要抑制や、派遣からインソーシングへの移行を戦略的に推進したこともあり、長期稼働者数が減少。結果、売上高は 122,491 百万円(△6.2%)の減収

##### インソーシング(委託・請負)

- 官公庁・自治体等の若年層就労支援事業や被災者就労支援事業など緊急雇用案件の受託に加えて、総務・事務センターや行政の窓口業務などの受託も増加
- 2003 年より農業分野の雇用創出に取り組み、昨年 12 月に設立した株式会社パソナ農援隊の地方での農業人材育成事業などの受託も堅調に推移
- 一方、民間企業においても受付・総務・経理などの受託が増加したほか、多様化するニーズに応えるため、クライアントの内部業務の外部集約化(センター化)なども提案
- インソーシングの売上高は 26,748 百万円(+63.4%)と大幅に増加

#### [プレース&サーチ(人材紹介)]

売上高 2,692 百万円(+46.8%)

- IT 関連やメディカル業界を中心に正社員採用が活発化したほか、企業のグローバル化に伴う国内求人が増加し、大幅に伸長

#### [グローバルソーシング(海外人材サービス)]

売上高 2,327 百万円(+14.6%)

- 企業の海外シフトに伴い台湾、インド、中国などアジアを中心に現地での人材紹介が増加したほか、人材派遣や給与計算等のアウトソーシングサービスも伸長
- 2011 年 10 月にインド 5 拠点目のグルガオン支店を開設、11 月には韓国に進出し、12 月に米国にテキサス支店を開設して北米 10 都市体制としたほか、2012 年 1 月にインドネシアに進出し、海外拠点は 10 ヶ国 34 ヶ所に
- 上海に「ペイロールセンター」を開設して海外駐在員の給与計算・労務を一括管理するアウトソーシングサービスを開始

当セグメントの利益は、インソーシングにおいて、下期にかけて復興需要の立ち上がりに伴い被災者就労支援事業が本格化したことや、スタート時に一時的に原価が膨らむ傾向にある新規案件増加などが相俟って粗利率が低下したものの、インソーシングやプレース&サーチの大幅増収により売上総利益が増加し、営業利益は +11.7%の増益

#### アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 9,594 百万円(△2.2%) 営業利益 834 百万円(△17.4%)

- 新規受注は前期比マイナスとなったものの、下期にかけては経営環境悪化に伴う雇用調整や、生産拠点の海外移転などにより需要が増加
- 次期以降の需要増を見据え、人員の拡充と拠点開設を先行的に実施

#### アウトソーシング

売上高 14,959 百万円(+1.8%) 営業利益 2,479 百万円(+11.3%)

- 大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスメニューを拡充
- 企業顧客満足度向上のためのサービス「カスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)事業」において企業の顧客から直接収入を得るパーソナル事業等の新規サービスにも注力

#### ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 3,732 百万円(+4.7%) 営業利益 42 百万円(△68.2%)

- ライフソリューションの保育関連事業では学童保育事業や節電影響による臨時託児所の受託増加などから増収
- シェアードではグループのリスクマネジメント強化の一環のシステム対応コストが膨らむ

### 3. 財政・投資の状況

#### ●財政の状況

(百万円)

	2011年5月期 期末	2012年5月期 期末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	44,368	<b>49,417</b>	5,049	11.4%	資産増加は主にキャブラン、安川ビジネススタッフ、ビーウィズを連結子会社化したため。内訳は売掛金の増加4,023百万円(うち3社による増加3,029百万円)、無形固定資産の増加4,382百万円(同4,682百万円)、敷金及び保証金の増加651百万円(同527百万円)等
固定資産	16,195	<b>21,471</b>	5,276	32.6%	
<b>資産合計</b>	60,564	<b>70,889</b>	10,325	17.0%	
流動負債	25,329	<b>31,949</b>	6,619	26.1%	短期借入金の増加1,029百万円、未払金の増加1,626百万円(うち3社による増加769百万円)、未払費用の増加1,833百万円(同1,411百万円)、長期借入金の増加2,993百万円等
固定負債	9,592	<b>12,644</b>	3,052	31.8%	
<b>負債合計</b>	34,922	<b>44,593</b>	9,671	27.7%	
<b>純資産合計</b>	25,642	<b>26,295</b>	653	2.5%	当期純利益29百万円、少数株主持分の増加1,114百万円(うち3社による増加628百万円)、配当金の支払374百万円等
自己資本比率	34.7%	<b>29.0%</b>	△5.7pt		

#### ●キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高22,739百万円(前期末比175百万円増)

(百万円)

	2011年5月期	2012年5月期	増減	資金増減の主な内訳
営業活動によるCF	6,419	<b>3,431</b>	△2,988	税金等調整前当期純利益2,218百万円、営業債務の増加532百万円、減価償却費2,149百万円、法人税等の支払額1,748百万円等
投資活動によるCF	166	<b>△5,718</b>	△5,885	投資有価証券の売却297百万円、敷金及び保証金の回収355百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4,424百万円、有形固定資産の取得747百万円、無形固定資産の取得689百万円、事業譲受による支出410百万円等
財務活動によるCF	3,695	<b>2,479</b>	△1,216	長期借入による収入5,600百万円、長期借入金の返済2,050百万円、配当金の支払660百万円、ファイナンス・リース債務の返済759百万円等
フリーCF	6,586	<b>△2,287</b>	△8,873	

### 4. 2013年5月期(2012年6月1日～2013年5月31日)連結業績予想

#### ●連結業績予想

(百万円)

連結	2012年5月期 通期実績	2013年5月期						
		通期予想	増減	前期比	上期	前年同期比	下期	前年同期比
売上高	181,498	<b>212,000</b>	30,501	16.8%	<b>103,000</b>	13.3%	<b>109,000</b>	20.3%
営業利益	1,964	<b>3,000</b>	1,035	52.7%	<b>800</b>	10.4%	<b>2,200</b>	77.4%
経常利益	2,091	<b>2,900</b>	808	38.7%	<b>750</b>	0.7%	<b>2,150</b>	59.7%
当期純損益	29	<b>350</b>	320	1,086.4%	<b>△300</b>	—	<b>650</b>	—

- 当期は積極的にM&Aを推進し、国際交流センター(今年8月1日付で商号をパソナランゲージに変更予定)、キャブラン、安川ビジネススタッフ、ビーウィズを新たに子会社化し、多様化する顧客ニーズに対応可能な事業基盤を構築
- 次期はその基盤をもとにグループシナジーを徹底的に追求すると共に、業務プロセス効率化のコンサルティングやアウトソーシング受託、海外進出のサポートなどのサービスをさらに強化
- 販管費は、新規連結子会社による増加分や、のれん償却費などが発生するため増加するものの、その他は引き続き効率化を図り、コストを削減
- アウトソーシングの季節影響等により利益は下期偏重となるが、増収増益を見込む

●セグメント別通期連結業績予想（セグメント間取引消去前）

	売上高	前期比	営業利益	前期比
HRソリューション	211,000	16.8%	7,000	26.7%
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	182,900	17.2%	3,130	41.5%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	177,250	17.4%	3,130	41.5%
プレース&サーチ(人材紹介)	3,000	11.4%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	2,650	13.8%		
アウトプレースメント(再就職支援)	10,190	6.2%	1,070	28.2%
アウトソーシング	17,910	19.7%	2,800	12.9%
ライフソリューション、パブリックソリューション シェアード	3,920	5.0%	0	—
消去又は全社	△2,920	—	△4,000	—
合計	212,000	16.8%	3,000	52.7%

**エキスパートサービス(人材派遣)**

- 景気回復を受け、派遣需要においても緩やかな改善を見込む
- 新規連結子会社による増収に加え、専門派遣強化などに注力し、収益の確保を図る

**インソーシング(委託・請負)**

- 官公庁・自治体の若年層や被災者の就労支援に対する需要は次期も続く見通し
- 自治体との実績を元に、行政事務代行など更なる業務領域の拡大を目指す
- ビーウィズの子会社化により、派遣からインソーシング、インソーシングからアウトソーシング(BPO)など様々な移行スキーム対応が可能となるため、民間企業への提案を強化
- BPOのノウハウを蓄積し、更なる業務の高品質化に取り組み、増収を見込む

**プレース&サーチ(人材紹介)**

- 緩やかな景気回復が続くなか、求人需要も堅調な動きを予想
- 中でも企業のグローバル展開に伴う人材や外国語関連業務における人材需要が高まると見込む
- グローバル人材の募集体制の刷新やコンサルタント増員により強固な事業基盤を構築

**グローバルソーシング(海外人材サービス)**

- 日系企業の海外シフトがさらに進むことにより、グローバルソーシングも更なる成長を見込む
- グローバル人材の採用代行や海外駐在員の給与計算、労務の一括管理などアウトソーシングサービスの更なる拡大を進める
- 一方で、各拠点のポジショニングを明確にし、経営資源投入を最適化していくことによりコスト効率を高める

**アウトプレースメント(再就職支援)**

- 経営環境の悪化や生産拠点の海外移転等に伴って雇用調整を行う企業からの受注が緩やかに増加
- 再雇用義務化に関するコンサルティング需要も増加
- サービス品質を維持するため、コンサルタントの早期育成を行うと共に、コンサルタントの生産性も向上させることで増収増益を見込む

**アウトソーシング**

- 主力の福利厚生サービスを中心に堅調に推移する見通し
- 今年3月にベネフィットワンソリューションズ(旧:ユニマットソリューションズ)や5月にベネフィットワン・ヘルスケア(旧:保健教育センター)を子会社化し、次期はこれら子会社とのシナジーを高め、新たなサービスの拡充や新規事業の拡大により増収増益を見込む

**ライフソリューション**

- 保育関連事業、教育事業は引き続き堅調に推移する見通し

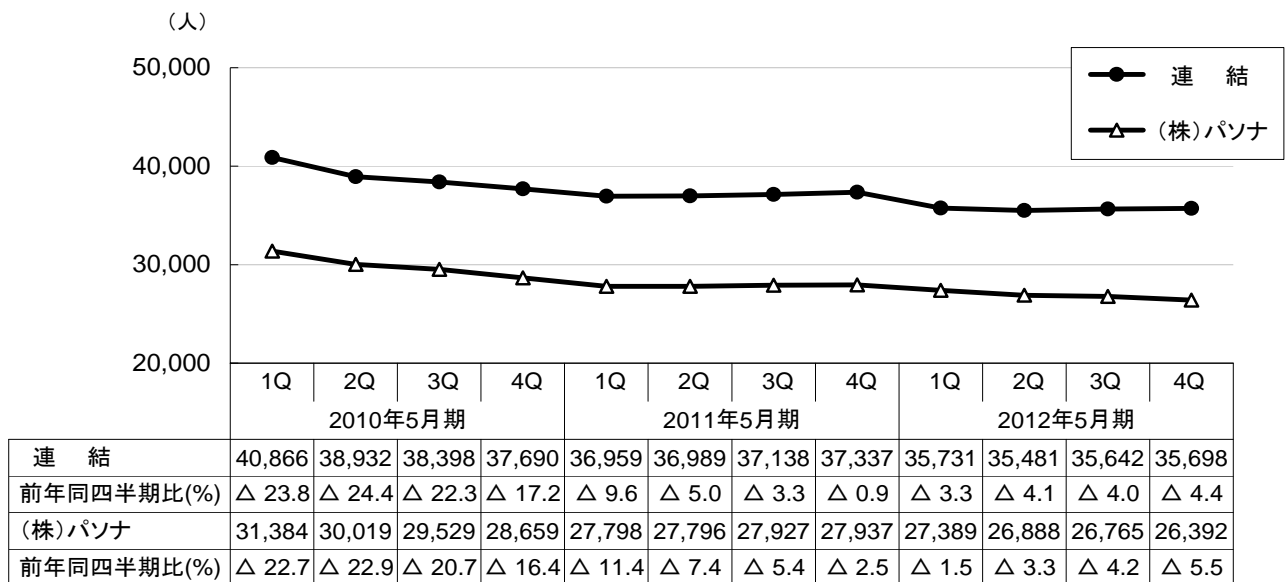
## 5. 配当について

- 当期は業績や株主還元を総合的に勘案し、1株当たり1,000円の期末配当を実施
- 次期は、第2四半期連結累計期間は四半期純損失を予想していることから、中間配当は当期同様に見送り、期末配当は当期と同額の1株当たり1,000円を予定

配 当 金	2012年5月期			2013年5月期(予想)		
	中間 0円	期末 1,000円	年間 1,000円	中間 0円	期末 1,000円	年間 1,000円
配当金総額	—	374百万円	374百万円	—		
配当性向	1,269.4%			107.0%		

## 6. 参考データ

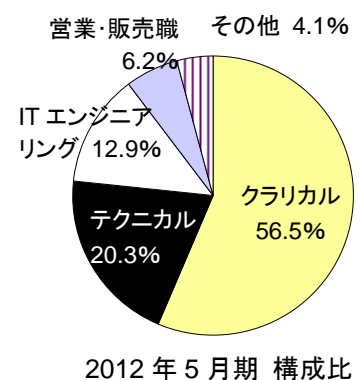
### ●エキスパートサービス長期稼働者数 (1ヶ月以上契約の稼働者数の四半期毎の単純月平均)



### ●エキスパートサービス職種別 連結売上高 (セグメント間取引消去後)

(百万円)

	(参考) 2011年5月期	2012年5月期	(参考) 前期比
ク ラ リ カ ル	74,124	69,121	△6.7%
テ ク ニ カ ル	25,716	24,754	△3.7%
ITエンジニアリング	16,029	15,781	△1.5%
営 業 ・ 販 売 職	8,577	7,631	△11.0%
その他エキスパートサービス	5,895	4,980	△15.5%
合 計	130,344	122,269	△6.2%



※職種区分変更のため、前期は参考値

●連結業績 四半期推移

(百万円)

	2011年5月期				2012年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	44,574	44,419	43,669	46,142	45,901	44,979	44,364	46,252
前年同四半期比	△5.5%	△1.1%	△0.7%	△2.8%	+3.0%	+1.3%	+1.6%	+0.2%
売上原価	36,432	36,388	35,288	37,138	37,412	36,821	36,115	37,344
前年同四半期比	△4.9%	+0.9%	+1.1%	△0.9%	+2.7%	+1.2%	+2.3%	+0.6%
売上総利益	8,142	8,031	8,381	9,003	8,488	8,158	8,249	8,908
前年同四半期比	△7.8%	△9.3%	△7.5%	△9.8%	+4.3%	+1.6%	△1.6%	△1.1%
販売費及び一般管理費	7,831	7,811	7,630	7,857	7,886	8,035	7,894	8,023
前年同四半期比	△12.7%	△0.1%	△1.8%	△7.7%	+0.7%	+2.9%	+3.5%	+2.1%
営業利益	310	220	750	1,145	601	122	355	884
前年同四半期比	-	△78.8%	△41.8%	△21.8%	+93.9%	△44.4%	△52.6%	△22.8%
経常利益	319	258	747	1,240	560	184	393	952
前年同四半期比	-	△75.4%	△49.1%	△24.4%	+75.4%	△28.7%	△47.3%	△23.2%
税金等調整前四半期純損益	△134	247	788	1,595	553	234	384	1,046
前年同四半期比	-	△76.1%	△42.8%	+1.2%	-	△5.1%	△51.2%	△34.4%
四半期純損益	△471	△77	214	747	111	△36	△181	136
前年同四半期比	-	-	△26.8%	△53.5%	-	-	-	△81.7%

●セグメント別売上高 四半期推移

(百万円)

セグメント	2011年5月期				2012年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エキスパートサービス インソーシング HRコンサルティング	37,360	37,109	36,466	38,303	38,646	37,514	36,763	38,083
前年同四半期比	△7.7%	△2.0%	△0.1%	2.3%	3.4%	1.1%	0.8%	△0.6%
プレース & サーチ	345	443	447	597	571	672	687	759
前年同四半期比	△19.9%	49.3%	49.0%	12.1%	65.4%	51.8%	53.8%	27.2%
グローバルソーシング	513	487	470	560	569	502	541	714
前年同四半期比	9.7%	9.8%	△10.6%	19.2%	11.0%	3.1%	15.0%	27.5%
アウトプレースメント	2,634	2,468	2,286	2,417	2,501	2,385	2,316	2,391
前年同四半期比	15.3%	△15.1%	△25.7%	△53.9%	△5.1%	△3.4%	1.3%	△1.1%
アウトソーシング	3,404	3,659	3,687	3,938	3,428	3,639	3,772	4,118
前年同四半期比	△0.9%	10.0%	6.7%	10.1%	0.7%	△0.6%	2.3%	4.6%

●セグメント別営業利益 四半期推移

(百万円)

セグメント	2011年5月期				2012年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エキスパートサービス インソーシング HRコンサルティング プレース & サーチ グローバルソーシング	356	296	497	829	643	405	225	936
前年同四半期比	-	△25.8%	103.1%	407.9%	80.4%	36.7%	△54.7%	13.0%
アウトプレースメント	312	273	121	303	361	232	115	125
前年同四半期比	△46.9%	△71.6%	△86.4%	△75.9%	15.6%	△15.1%	△4.9%	△58.5%
アウトソーシング	285	346	780	814	372	393	863	850
前年同四半期比	77.1%	△30.4%	△5.3%	6.5%	30.1%	13.7%	10.6%	4.5%

※2011年5月期からセグメントを変更したため、セグメント別売上高および営業利益の2011年5月期の前年同四半期比は参考値

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。